

令和4年度(2022年度)決算

とよなかのお財布事情

(本編)

とよなか SDGs 未来都市

～明日がもっと楽しみなまち～



40万人の
とよなか
未来ボタン

SDGs to 2030

1. 令和4年度の収入と支出について

はじめに、令和4年度の収入と支出について見てみます。

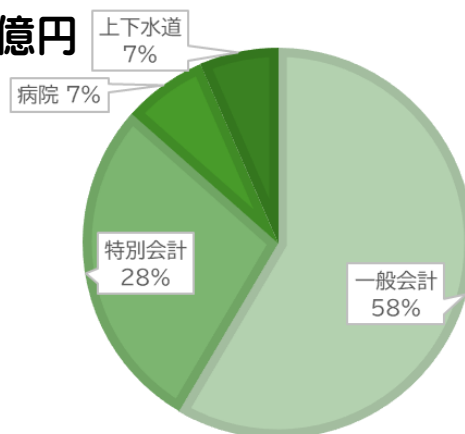
市全体の収入 3,169億円

一般会計 1,853億円 (58%)

特別会計 890億円 (28%)
(国民健康保険、介護保険など)

病院 220億円 (7%)

上下水道 206億円 (7%)



市のお財布には、一般的なお財布（一般会計）と、用途が決まっている特別なお財布（特別会計・企業会計）があります。国民健康保険や介護保険などが特別会計、病院・水道・下水道が企業会計です。一般会計の収入は市税など、特別会計・企業会計の収入は、国民健康保険や介護保険などの保険料、病院の診療報酬、水道・下水道の使用料などです。

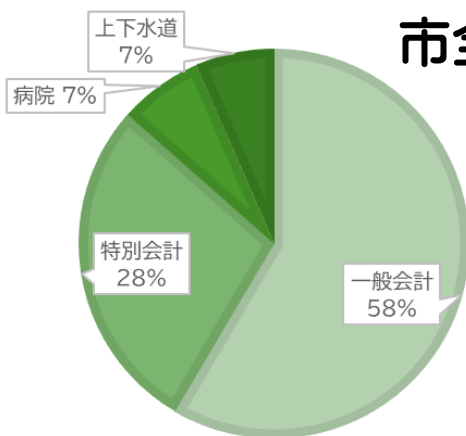
市全体の支出 3,071億円

一般会計 1,787億円 (58%)

特別会計 868億円 (28%)
(国民健康保険、介護保険など)

病院 218億円 (7%)

上下水道 198億円 (7%)

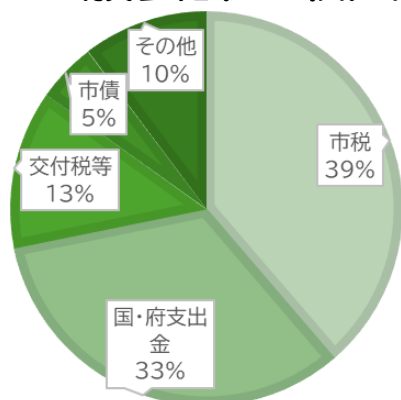


市では、一般的なお財布と特別なお財布を用途によって使い分けて、それぞれのお金の支払いをしています。

特別なお財布は、収入だけではお金が足りないので、一般会計からもお金を受け取っています。

<収入・支出の内訳(一般会計)>

一般会計の収入 1,853億円



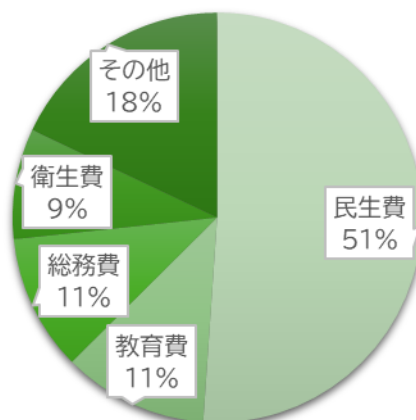
市税	717 億円 (39%)
国・府支出金	614 億円 (33%)
交付税等	241 億円 (13%)
市債(借金)	90 億円 (5%)
その他の収入	191 億円 (10%)

一般会計に入ってくるお金には、市に納められた税金(市税)や、国や府からの補助金(国・府支出金)、国や銀行からの借金(市債)などがあります。

令和4年度に市が受け取ったお金のうち、約39%が市税、約33%が補助金、約5%が借金(市債)でした。
その他の収入としては、使用料や手数料、繰越金などがあります。

一般会計の支出 1,787億円

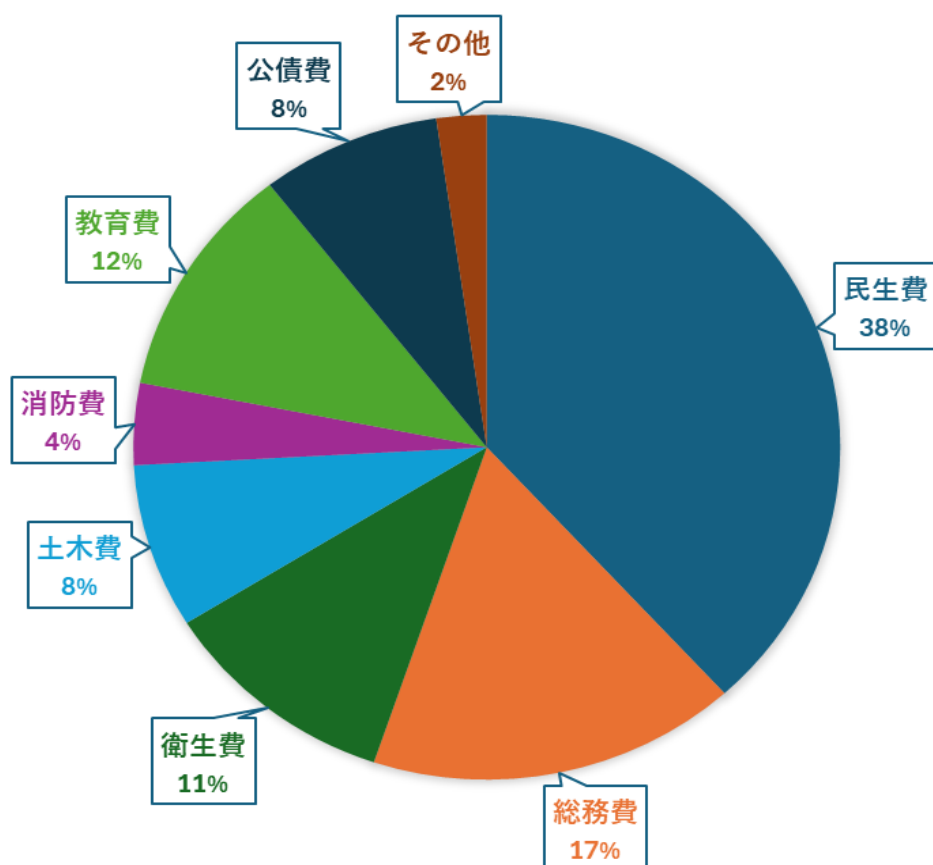
民生費	913 億円 (51%)
教育費	205 億円 (11%)
総務費	192 億円 (11%)
衛生費	156 億円 (9%)
その他の支出	321 億円 (18%)



令和4年度に一般会計から支払ったお金の約51%は、福祉や子育てなどに使ったお金(民生費)でした。
その他の支出としては、総務費や土木費、公債費などがあります。

次のページで、市税(一般財源等)を活用した支出の内訳について、使われた内容を細かく分けながら見ていきます。

<市税(一般財源等)1万円あたりの支出内訳>



一般的なお財布(一般会計等)に入ったお金は、豊中市を暮らしやすいまちにするために使われています。
具体的な取り組みを見ていきます。

●民生費:3,826円(前年度比+159円)

子どもや高齢者、障がい者などが安心した生活を送るために使うお金です。

<主な事業>

子ども医療費助成、扶助費、介護保険・障害福祉サービス、生活応援臨時給付金など

●総務費:1,692円(前年度比△69円)

税金の徴収や財産の管理など市役所を運営するためのお金です。

<主な事業>

庄内コラボセンター整備事業、システムの運用、各施設運営管理など

●**教育費：1,136円** (前年度比+94円)

学校の教育や図書館、学校施設の運営・維持管理に使うお金です。

<主な事業>

給食運営、学校や体育館等の施設管理、庄内さくら学園整備事業など

●**衛生費：1,096円** (前年度比△4円)

ごみの収集やけんしんなど、環境や健康を守るためのお金です。

<主な事業>

ごみ収集業務委託、クリーンランド負担金、予防接種、がん検診など

●**公債費：823円** (前年度比△64円)

国や銀行などから借りている市の借金を返すためのお金です。

●**土木費：800円** (前年度比△25円)

道路や公園、市営住宅などを維持、修繕するお金です。

<主な事業>

道路・橋りょう維持補修、公園維持管理、市営住宅整備事業など

●**消防費：398円** (前年度比△18円)

災害やケガ・事故などから市民の命や財産を守るために使うお金です。

<主な事業>

消防指令業務の共同運用、消防車両の更新整備、備蓄物資管理など

●**その他：229円** (前年度比△73円)

「議会費(議会運営等)」「労働費(働く人の支援等)」「商工費(産業振興等)」などがあります。

<主な事業>

雇用創出事業、プレミアム付家計応援券、企業立地促進など

2. 令和4年度財務諸表について

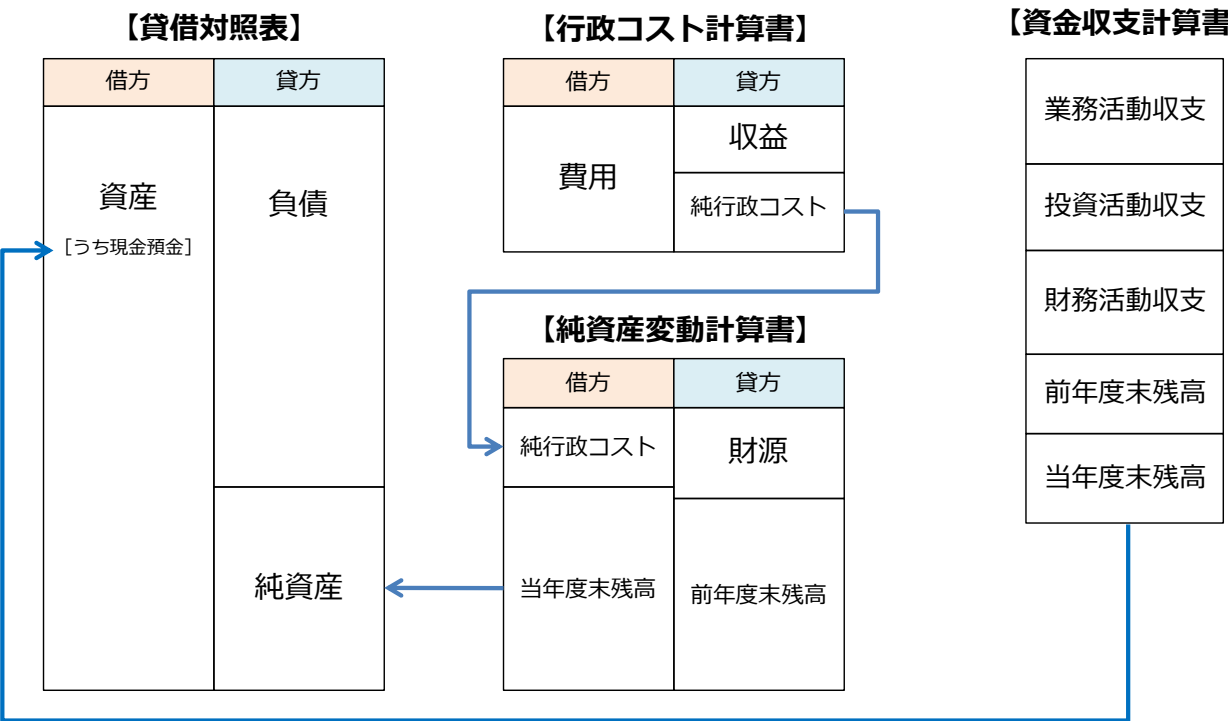
次に、現金の収入と支出だけでは見えにくい、資産・負債といったストック情報や減価償却費などのコスト情報が把握できる、財務諸表について見てみます。

財務諸表については、下記の通り4表で構成されています。

<財務書類4表>

貸借対照表	・ 基準日時点における財政状態（資産・負債・純資産の残高及び内訳）を表示したもの
行政コスト計算書	・ 一会計期間中の費用・収益の取引高を表示したもの
純資産変動計算書	・ 一会計期間中の純資産（及びその内部構成）の変動を表示したもの
資金収支計算書	・ 一会計期間中の現金の受払いを3つの区分で表示したもの

財務書類は、それぞれ下記のような関係性があります。



【貸借対照表】

「貸借対照表」とは、会計年度末に、市が持っている土地・建物や現金・預金などの資産と、これらの資産を購入したり、作ったりするための借金や支払い予定の退職手当額などの負債、また、返済不要の自己資本である純資産が、どれくらいあるのかを表したものです。

令和5年(2023年)3月31日現在

単位:百万円

科 目	R4	R3	差 額	科 目	R4	R3	差 額
資産の部				負債の部			
固定資産	730,973	723,778	7,195	固定負債	101,045	100,356	689
有形固定資産	678,105	671,587	6,518	⑪地方債	81,870	81,107	763
①事業用資産	372,259	364,763	7,496	⑫退職手当引当金	19,055	19,077	△ 22
②インフラ資産	304,303	305,496	△ 1,193	その他	120	172	△ 52
③物品	1,542	1,328	214	流動負債	12,675	12,887	△ 212
④無形固定資産	916	635	281	⑬1年内償還予定地方債	8,759	9,044	△ 285
投資その他の資産	51,952	51,555	397	⑭賞与等引当金	1,858	1,818	40
⑤投資及び出資金	34,956	34,858	98	その他	2,058	2,025	33
⑥長期延滞債権	1,706	1,936	△ 230	負債の部合計	113,720	113,243	477
⑦基金	15,207	14,484	723	純資産の部			
その他	83	277	△ 194	⑮純資産	640,555	633,077	7,478
流動資産	23,302	22,542	760	純資産の部合計	640,555	633,077	7,478
⑧現金預金	8,729	7,955	774	負債及び純資産の部合計	754,275	746,320	7,955
⑨未収金	616	565	51				
⑩基金	13,923	13,987	△ 64				
その他	34	35	△ 1				
資産の部合計	754,275	746,320	7,955				

※各項目は単位未満で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

<主な増減>

①事業用資産

庄内コラボセンター、庄内さくら学園の整備により、前年度から74億9,600万円増加しました。

②インフラ資産

利倉橋や服部天神駅前整備事業などを行っていますが、減価償却費などが投資した額を上回ったため、前年度から11億9,300万円減少しています。

⑪地方債

上記施設の整備等により地方債を発行したため、前年度から7億6,300万円増加しています。

【行政コスト計算書】

「行政コスト計算書」とは、1年間に行政サービスの提供にかけた費用と使用料、手数料などから得られた収入を示したものです。

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

単位：百万円

科 目	R4	R3	差額
経常収支（毎年度経常的に発生するもの）			
経常費用	157,846	160,502	△ 2,656
業務費用	66,857	66,970	△ 113
人件費	28,039	27,492	547
物件費等	36,738	37,709	△ 971
その他の業務費用	2,080	1,769	311
移転費用	90,990	93,533	△ 2,543
補助金等	18,101	17,890	211
社会保障給付	61,876	65,011	△ 3,135
他会計への繰出金	10,998	10,523	475
その他	15	109	△ 94
経常収益	5,484	4,867	617
使用料及び手数料	2,067	2,035	32
その他（給食費収入など）	3,417	2,832	585
経常収支差額（純経常行政コスト）	152,363	155,635	△ 3,272
特別収支（臨時に発生するもの）			
臨時損失（資産除売却損）	216	34	182
臨時利益（資産売却益）	95	106	△ 11
特別収支差額	121	△ 72	193
当年度収支差額（純行政コスト）	152,484	155,563	△ 3,079

※各項目は単位未満で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

<主な特徴>

臨時特別給付金等が減少したことで社会保障給付が618億7,600万円（前年度比△31億3,500万円）となった等の影響により、純行政コストが1,524億8,400万円（前年度比△30億7,900万円）となりました。

【純資産変動計算書】

「純資産変動計算書」とは、純資産（資産から負債を差し引いた残りの額）の増減の内訳や、貸借対照表の純資産の1年間の動きを詳しく表したものです。

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

単位：百万円

科 目	R4	R3	差額
前年度末純資産残高	633,077	625,093	7,984
純行政コスト(△)	△ 152,484	△ 155,563	3,079
財源	159,147	158,234	913
税収等	97,723	94,373	3,350
国府等補助金	61,424	63,861	△ 2,437
本年度差額	6,664	2,671	3,993
資産評価差額	0	0	0
無償所管換等	787	5,315	△ 4,528
その他	28	△ 2	30
本年度純資産変動額	7,478	7,984	△ 506
本年度末純資産残高	640,555	633,077	7,478

※各項目は単位未満で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

<主な特徴>

前頁の行政コスト計算書にある純行政コストの数字と純資産変動計算書の純行政コストの数字が一致します。

純行政コストの減に加え、税収等が977億2,300万円（前年度比+33億5,000万円）となり、純資産が74億7,800万円増加しました。

【資金収支計算書】

「資金収支計算書」とは、貸借対照表上の現金の1年間の流れを詳しく表したものです。資金収支計算書の「本年度末現金預金残高」は、貸借対照表の「現金預金」の値と一致します。

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

単位:百万円

科 目	R4	R3	差額
業務活動収支	12,090	10,386	1,704
業務支出	149,367	152,323	△ 2,956
業務費用支出	58,390	58,897	△ 507
人件費支出	28,020	27,422	598
物件費等支出	28,735	29,637	△ 902
その他の支出	1,635	1,838	△ 203
移転費用支出	90,977	93,426	△ 2,449
補助金等支出	18,101	17,890	211
社会保障給付支出	61,876	65,011	△ 3,135
他会計への繰出支出	10,998	10,523	475
その他の支出	3	3	0
業務収入	161,457	162,710	△ 1,253
税込等収入	97,735	95,686	2,049
国県等補助金収入	58,299	61,964	△ 3,665
その他の収入	5,424	5,060	364
臨時支出	-	-	-
臨時収入	-	-	-
投資活動収支	△ 11,478	△ 11,822	344
投資活動支出	20,571	14,547	6,024
公共施設等整備費支出	13,972	5,668	8,304
基金積立金支出	6,445	8,701	△ 2,256
その他の支出	155	177	△ 22
投資活動収入	9,093	2,725	6,368
国県等補助金収入	3,126	1,916	1,210
基金取崩収入	5,784	303	5,481
その他の収入	183	505	△ 322
財務活動収支	158	2,211	△ 2,053
財務活動支出	9,405	9,780	△ 375
地方債償還支出	9,044	9,314	△ 270
その他の支出	362	467	△ 105
財務活動収入	9,563	11,991	△ 2,428
地方債発行収入	9,563	11,991	△ 2,428
その他の収入	0	0	0
本年度資金収支額	770	776	△ 6
前年度末資金残高	5,929	5,153	776
本年度末資金残高	6,699	5,929	770

<業務活動収支>

行政サービスを行う中で、毎年度経常的に収入・支出される現金の収支です。

この収支額がプラスであれば、その部分は投資や借金返済に回すことができます。

令和4年度の業務活動収支は120億9,000万円のプラスとなりました。

<投資活動収支>

主に資産形成にかかる現金の収支です。通常はマイナスとなります。

令和4年度の投資活動収支は114億7,800万円のマイナスとなりました。

<財務活動収支>

地方債の借入・償還等にかかる現金の収支です。

収支がプラスなら、償還金額より多くの地方債を発行したこととなり、市の借金残高は増加したこととなります。

令和4年度の財務活動収支は1億5,800万円のプラスとなりました。

前年度末歳計外現金残高	2,026	2,232	△ 206
本年度歳計外現金増減額	5	△ 206	211
本年度末歳計外現金残高	2,031	2,026	5
本年度末現金預金残高	8,729	7,955	774

※各項目は単位未満で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

本年度末現金預金残高は87億2,900万円となりました。これは、貸借対照表における現金預金の額と一致します。

お財布診断

財務諸表をもとに、これまでの負担とこれからの負担について、4つの観点から市のお財布を診断します。

①未来に残る資産



一人当たり資産 185万円

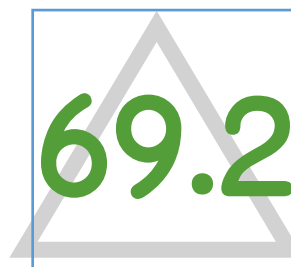
前年度:183万円 中核市平均(※):155万円

令和4年度の豊中市民の一人当たり資産は中核市平均を上回っています。未来に残る資産は増えていますが、資産はいずれ負担にもなることには注意が必要です。

資産老朽化比率 69.2%

前年度:70.0% 中核市平均:64.4%

資産の老朽化の度合い(有形固定資産減価償却率)を示す指標です。中核市平均より高いのは、資産の更新が他市に比べて進んでおらず、今後は更新の費用が必要になることを示しています。



②これまでとこれからの負担の割合



純資産比率 84.9%

前年度:84.8% 中核市平均:71.1%

純資産はこれまでの世代による負担の蓄積であり、資産の比率を示す純資産比率は、中核市平均を大きく上回っています。

将来世代負担比率 3.8%

前年度:3.5% 中核市平均:16.3%

固定資産に対してこれからの世代の負担となる借金残高の割合を示す指標です。豊中市は中核市平均を大きく下回っています。



(※) 作成時点で中核市の情報が揃っていないため、前年度(令和3年度)データを用いています。

③これからの負担の大きさ等



27.9

一人当たり負債 27.9万円

前年度:27.7万円 中核市平均:45.0万円

令和4年度の、豊中市民の一人当たり負債(これからの負担)は27.9万円でした。負債が少なく資産が多いので、施設や道路の更新にかかるお金が今後増える可能性を示しています。

基礎的財政収支 15.3億

前年度:72.7億 中核市平均:32.0億

業務活動収支(市民サービス)と投資活動収支(資産形成)のバランスを示す指標(プライマリーバランス)です。庄内コラボセンター整備などの投資活動支出が増えたことにより令和4年度は減少しました。



15.3

④行政サービスの効率性



37.4

一人当たり行政コスト 37.4万円

前年度:38.1万円 中核市平均:39.4万円

行政コストが市民一人当たりいくらかかっているかを示す指標です。前年度に比べてコストの減少が見られると同時に、中核市平均を下回っています。

総合評価 おおむね順調、施設更新コストに注意

お財布診断では、ほとんどの指標は中核市平均と比べて良好ですが、資産老朽化比率が比較的悪い状態が継続しています。

令和4年度では大規模な整備事業を行ったことにより、当該比率の低下がみられたものの、その結果一人当たり負債の増や基礎的財政収支の減となっています。また、高齢化等に伴い、市民サービスの費用の上昇が見込まれています。

社会経済情勢の急激な変化に対応できるよう、引続き施設総量の削減などを行いながら、一人当たり資産や純資産比率、将来世代負担比率等の指標を良好に保つ必要があります。

お財布の今後

お財布診断では、令和4年度の結果は「おおむね順調」でしたが、将来への負担について課題があることがわかりました。
豊中市がずっと住み続けられるまちであるためには、市民のみなさんと行政が一緒になって、資産の持ち方やお金の使い方を考えていく必要があります。

資産のこれから 未来に残す施設や道路

豊中市の資産は昭和40年代に整備したものが多く、老朽化が進んでいます。施設やインフラの維持・更新の費用はこの先、年間平均で約40億円増える見込みです。



費用のこれから 各年度の市民サービス



今後も少子高齢化が進んでいくことから、医療・介護や子育て支援に使われる社会保障関係経費は年平均5%程度増加しており、今後も同じ傾向が続くと考えられます。一方税収の伸びは限られる見込みで資産形成とのバランスが求められます。



令和6年（2024年）5月作成
豊中市財務部財政課